

(議事要旨)

○補助事業 主要地方道大津能登川長浜線（馬場・上砥山工区）の再評価

●委員

資料 P 17 に国体会場という表記があるが、国民体育大会という名称が国民スポーツ大会に変更されているので、表記を直したほうがよいのではないかと。

●道路課

修正する。

●委員

今回の全体事業費が大幅に膨らんだということは、新しくできる高架の地盤が思ったよりも緩かったということか。安全性を重視して、その分だけ費用が膨らんだということではないかと。

●道路課

はい。構造物の安全性を確保するため、基礎杭を施工することとなった。

●委員

土質調査の結果、変更となったとのことだが、当初は土質調査をしていなかったのか。

●道路課

実施していなかった。資料 P 8 の地図にあるように近接する工区で国が葉山川本線橋の設計・土質調査をされていたのでそれらを参考にした。同様に、近接した箇所でも過去に県事業で実施した伯母川橋が直接基礎で施工されていることから当工区においても直接基礎と判断した。

●委員

全ての高架橋が対象か。もう基礎構造が変わることはないか。

●道路課

全ての高架橋が対象である。今後、変わることはない。

●委員

このバイパスを整備してもらえると国道 1 号の混雑は緩和されると思うので、ぜひ整備を進めてもらいたい。全体事業費が増額になるが安全性確保のためには致し方ないと思う。

●委員

国が土質調査をした箇所は資料P 6でどのあたりか。

●道路課

(資料で説明)

●委員

国が調査した箇所は丘陵地の端部あたりだが、当工区は河川と河川の間扇状地か自然堤防のような箇所なので、地形的には軟弱地盤であろうと想定する必要があったという気がしないでもないが。

●委員長

補助事業ということで国から補助金をもらっていると思うが、事業費増額のことは国に説明しているのか。

●道路課

なぜこのような状況になったかはしっかりと説明している。

●委員

近くの調査結果を参考にするのは宅地ではよくあるが、このような事業でも一般的にそうなのか。事前に調査はしないのか。

●道路課

手戻りが生じないようになるべくジャストポイントで土質調査を事前に実施するのが通常である。

●委員

近くに工業団地があるが、そこではボーリング調査はされていないのか。されていれば、その調査結果を参考にできたのではないか。

●道路課

公共事業間のデータは共有しているが、民間データまでは把握できていない。

●委員長

もしデータがあるのであれば共有できるようにすれば、今後、効率的に進められると思

う。

●委員

関係自治体から要望書が出されているが、関係自治体の負担はあるのか。負担が無いのであれば、関係ない自治体の住民にも増額の負担を強いることになるという考えもある。

●委員

県北部から来る人もここを通るだろうし、その他の地域から来る人もここを通るので、県全体としても利便性が向上しているということではないか。

(以上)